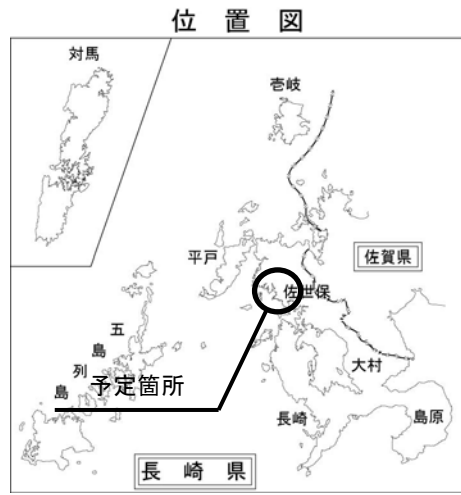



新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業化箇所）

担当課：九州地方整備局 道路部 地域道路課
担当課長名： 的場 眞二

事業の概要

事業名	主要地方道佐々鹿町江迎線 佐々I-C工区	事業区分	地方道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県北松浦郡佐々町志方免 至：長崎県北松浦郡佐々町沖田免	延長	0.69km		
<p>事業概要</p> <p>主要地方道佐々鹿町江迎線は、佐々町内の一般国道204号を起点とし小佐々町、鹿町町を經由して江迎町内の一般国道204号に至る幹線道路である。</p> <p>本事業は、現在事業中である西九州自動車道佐々佐世保道路の佐々I-Cへのアクセス道路として北松浦郡北部地域を結ぶ一般県道志方江迎線と佐々佐世保道路を直結する2車線道路を整備するものである。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>本事業の整備により、佐世保市と北松浦郡北部地域との連絡時間の短縮が図られ地域間の交流が促進されるとともに、高規格道路利用者を県道志方江迎線に導入することにより佐々I-C周辺道路の交通混雑が緩和され、地域の産業の振興と社会・経済活動の活性化に寄与することが出来る。</p>					
全体事業費	30億円	計画交通量	5,800台/日		
<p>事業概要図</p>  					

関係する地方公共団体等の意見

地元町である佐々町は、西九州自動車道佐々佐世保道路の完成に伴い佐々I-C周辺の町道などの交通混雑が予想されるため、佐々I-Cから県道志方江迎線を結ぶアクセス道路の整備を県に要望している。県としても、佐々I-C周辺道路の交通混雑緩和と高速交通体系から離れた地域である北松浦北部地域から高速I-Cへの時間距離短縮による地域間の交流促進を目的としてアクセス道路の整備を進めていきたい。

事業採択の前提条件

費用対便益： 便益が費用を上回っている。(B/C=3.21)
円滑な事業執行の環境： 事業執行について地元佐々町とは協議済みである。

事業評価結果

費用対便益	B/C	3.21	総費用	26億円	総便益	85億円	基準年	平成17年	
			事業費	26億円	走行時間短縮便益	70億円			
			維持管理費	0億円	走行費用減少便益	14億円			
感度分析の結果	交通量変動	B/C=3.52	(交通量 +10%)	B/C=2.86	(交通量 -10%)				
	事業費変動	B/C=2.92	(事業費 +10%)	B/C=3.56	(事業費 -10%)				
	事業期間変動	B/C=3.03	(事業期間 +2年)	B/C=3.38	(事業期間 -2年)				
事業の影響	評価項目	評価	根拠						
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	【渋滞損失時間の改善】(整備無し) 2,415千人・時間/年→(整備有り) 2,323千人・時間/年 【1kmあたり(台kmあたり)渋滞損失時間】 29千人・時間/年・km (県平均11.8千人・時間/年・km, 全国平均20.3千人・時間/年・km) 【渋滞度曲線】137位/409区間 【その他の特徴】					
		事故対策							
		歩行空間							
	社会全体への影響	住民生活	○	日常活動中心都市へのアクセス向上が見込まれる。					
		地域経済	○	平戸市から佐々I-Cへのアクセス向上 平戸市～佐々I-C 35分→30分 (平戸市への観光客数 H15 150万人)					
		災害	○	緊急輸送道路である(国)204号の代替路線となる。					
		環境	○	自動車からのCO2排出量が削減される。 70,900t-CO2/年 → 69,724t-CO2/年					
地域社会	○	鉄道及び河川により一体的発展が阻害されている地区を解消する。							
事業実施環境	○	事業執行について地元佐々町とは協議済みであるため、円滑な事業執行は可能である。							

採択の理由

費用対便益が3.21と便益が上回っていること、円滑な事業執行の環境が整っていることから事業採択の前提条件が確認できる。また、本事業の整備により、佐々I-Cから県道志方江迎線を介して北松浦郡北部地域へのアクセスが改善されることや、高規格道路利用者を県道志方江迎線に導入することにより佐々I-C周辺道路の交通混雑が改善されることから、地域経済への効果は高いと判断できる。以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。